

専門基礎分野 人体の構造と機能

教育内容

講義

科目	人体の構造と機能 I				
時間数	2 単位 30時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	②高橋美由紀 ③八塚愛未				
実務経験	②助産師(医療機関) ③看護師(医療機関)				
ねらい	<p>人体の構造と機能に関する知識は、人間の身体の状態を理解するための医学的基礎であり、今後学ぶ「疾病の成り立ちと回復の促進」や、全ての専門科目における看護実践の基盤となる重要な内容である。</p> <p>「人体の構造と機能 I」では、人体と構造を理解するために必要な基本的な知識を習得し、疾患の理解や看護技術の修得を効率的に進めるための基礎を築くことを目指す</p>				
目標	<p>1. 人体の構造と機能を理解するための基本的な知識や方法を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護に必要な専門用語や基本的な計算が理解できる。 ・疑問を自ら調べて解決する方法を理解できる。 <p>2. 人体の構造と機能に関する基本的な知識を習得する。</p>				
授業計画					
回	内容				
1	勉強方法について(ノートのとり方、言葉の調べ方、教科書、参考書、CS 看護の活用の仕方) 臨床現場で求められる計算				
2	医療の専門用語 ～状況を把握するための読解力				
3	解剖生理学とは～人体を構成するしくみ				
4	人体模型を使って臓器の場所、位置関係を理解する (多目的の人体模型に加えて、学習室にある人体模型などあらゆるものを駆使して)				
5	臓器の名前と働きを理解する:血液～物質を運搬する仕組み①				
6	臓器の名前と働きを理解する:心臓・血管～物質を運搬する仕組み②				
7	臓器の名前と働きを理解する:呼吸器～酸素を取り入れて二酸化炭素を排出するしくみ				
8	臓器の名前と働きを理解する:腎泌尿～尿を作るしくみ				
9	臓器の名前と働きを理解する:消化器～食物を摂取して消化・吸収し排泄するしくみ①				
10	臓器の名前と働きを理解する:胆肝臓～食物を摂取して消化・吸収し排泄するしくみ②				
11	臓器の名前と働きを理解する:脳神経～情報を収集して判断し、伝達するしくみ				
12	臓器の名前と働きを理解する:感覚器系～外部から情報を取り入れるしくみ				
13	臓器の名前と働きを理解する:免疫系～生体を守るしくみ				
14	臓器の名前と働きを理解する:内分泌～内部の環境を整えるしくみ				
15	臓器の名前と働きを理解する:生殖系～子孫を残すしくみ				
評価方法	<p>その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。</p> <p>筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して 100 点満点で評価する。60 点以上を及第点とする</p>				
教科書	<p>ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能(1)解剖生理学:メディカ出版</p> <p>人体の構造と機能①解剖生理学:医学書院</p> <p>CS 看護「描いて覚える解剖生理」</p>				